B6FH-D426-01 Z0-01

Fujitsu Workstation CELSIUS

CELSIUS W5012

BIOS セットアップメニュー 一覧

Intel、インテル、Intel ロゴ、Intel Coreは、アメリカ合衆国および / またはその他の国における Intel Corporation の商標です。

その他の各製品名は、各社の商標、または登録商標です。 その他の各製品は、各社の著作物です。 その他のすべての商標は、それぞれの所有者に帰属します。

Copyright Fujitsu Limited 2023

BIOSセットアップメニュー詳細

BIOS セットアップのメニューについて説明しています。 BIOS セットアップのメニューは次のとおりです。

メニュー		説明
情報	(→P.2)	BIOSやワークステーション本体についての情報が表示されます。
システム	(→P.3)	日時や言語を設定します。
詳細	(→P.3)	CPUや内蔵デバイス、周辺機器などを設定します。 また、イベントログに関する設定を行います。
セキュリティ	(→P.7)	パスワードなどのセキュリティ機能を設定します。
電源管理	(→P.9)	停電復旧時の動作や、Wake on LAN機能などを設定します。
MEBx	(→P.10)	ME BIOS Extensionを設定します。
起動	(→P.10)	起動時の動作について設定します。
終了	(→P.10)	設定値の保存や読み込み、BIOSセットアップの終了などを行います。

修重要

▶ BIOSセットアップの仕様は、改善のために予告なく変更することがあります。 あらかじめご了承ください。

P POINT

▶ ユーザー用パスワードでBIOSセットアップを起動すると、設定変更のできる項目が制限されます。制限された項目はグレーに表示されます。 ユーザー用パスワードでBIOSセットアップを起動した場合に変更できる項目は次のとおりです。

メニュー		設定項目
システム	システム時刻	
	システム日付	
	言語 (Language)	
	ポインティングデバイスサポー	-
詳細	CPU設定	Turbo Mode
		Intel(R) GNA
	System Management	FAN制御
セキュリティ	ユーザー用パスワード設定	
終了	変更を保存して終了する	
	変更を保存せずに終了する	
	変更を保存する	
	変更を保存して電源を切る	

情報メニュー

BIOSやワークステーション本体についての情報が表示されます。設定を変更することはできません。

設定項目	備考
型名	
製造番号	
BIOS版数	
ベースボード製品	
ベースボード製造番号	
カスタムメイド番号	
UEFI仕様版数	
アクセスレベル	BIOSセットアップを管理者用パスワードで起動した場合 は「管理者」、ユーザー用パスワードで起動した場合は 「ユーザー」と表示される
CPUタイプ	
全メモリ容量/動作周波数	
DIMM1 / CHA4	
DIMM2 / CHA2	
DIMM3 / CHB3	
DIMM4 / CHB1	
MACアドレス	
パススルー MAC アドレス	
LAN [n] MACアドレス	
UUID	
Open Source Software License Information	
Copyright Fujitsu Client Computing Limited YYYY	著作権表示

システムメニュー

□選択肢 ■初期値

設定項目	備考
システム時刻 00:00:00~23:59:59	・【Tab】キー/【Enter】キー …右の項目に移動 ・【Shift】+【Tab】キー …左の項目に移動 ・数字キーで入力
システム日付 2000/01/01~2099/12/31	 【Tab】キー/【Enter】キー…右の項目に移動 【Shift】+【Tab】キー…左の項目に移動 数字キーで入力 Windowsでは、OSが自動的に変更する場合あり
言語 (Language) □English (US) ■日本語 (JP)	
 キーボードレイアウト 英語 フランス語 ブラジル語 オランダ語 ドイツ語 イタリア語 スウェーデン語 デンマーク語 フィンランド語 ノルウェー語 ロシア語 日本語 □韓国語 □中国語 	BIOSパスワードを設定している場合は設定不可
ポインティングデバイスサポート □使用しない ■使用する	

詳細メニュー

設定項目	備考
起動設定	
強制ネットワーク起動 ■使用しない □使用する	
ネットワーク起動 □使用しない ■使用する	
IPV4環境でのネットワーク起動 □使用しない ■使用する	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「ネットワーク起動」が「使用する」 ※注3
IPv4 HTTP Support ■使用しない □使用する	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「ネットワーク起動」が「使用する」 ※注1
IPV6環境でのネットワーク起動 □使用しない ■使用する	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「ネットワーク起動」が「使用する」 ※注3
IPv6 HTTP Support ■使用しない □使用する	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「ネットワーク起動」が「使用する」 ※注1
起動エラー時の動作 □起動を続ける ■キー押下まで待つ	※注2
キーボードエラー検出 □使用しない ■使用する	
ドライブ設定	
SMART診断 □使用しない ■使用する	
VMDコントローラー ■使用しない □使用する	※注1
NVMeデバイスリマップ機能 ■使用しない □使用する	 下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ●「VMDコントローラー」が「使用する」 ※注1
SATA デバイスリマップ機能 ■使用しない □使用する	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「VMDコントローラー」が「使用する」 ※注1

備考
接続されているデバイス名、およびディスク容量(接続 されているデバイスがストレージの場合)が表示される
接続されているデバイス名、およびディスク容量(接続 されているデバイスがストレージの場合)が表示される
接続されているデバイス名、およびディスク容量(接続 されているデバイスがストレージの場合)が表示される
※注1
シリアルコネクタ搭載機種のみ表示
Windowsログオン後は前回終了時の状態になる

設定項目		備考
ディ	ィスプレイ設定	
	プライマリディスプレイ ■自動 □内蔵ビデオ □PCI Express for Graphics (PEG) □PCI Express	グラフィックスカード搭載時に設定可能
	内蔵ビデオ ■自動 □使用しない □使用する	グラフィックスカード搭載時に設定可能
その	D他の内蔵デバイス設定	
	Audioコントローラー □使用しない ■使用する	
	内蔵LANデバイス □使用しない ■使用する	
CPU	J設定	
	HTテクノロジー □使用しない ■使用する	対応CPU搭載時に設定可能
	Turbo Mode □使用しない ■使用する	・対応CPU搭載時に設定可能 ※注1
	Virtualization Technology □使用しない ■使用する	
	Intel(R) VT-d □使用しない ■使用する	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 「Virtualization Technology」が「使用する」
	Intel(R) TXT □使用しない ■使用する	 Secured-core PCモデルの初期値は「使用する」、 Secured-core PC非対応モデルの初期値は「使用しない」 下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 「Intel(R) VT-d」が「使用する」 「セキュリティチップ」が「使用する」
	Intel(R) GNA □使用しない ■使用する	対応CPU搭載時に設定可能
	C States □使用しない ■使用する	※注1
	Package C State Limit	※注1

設定項目	備考
USB設定	
USBポート □使用しない ■使用する	
前面 □使用しない ■使用する	
USB C □使用しない ■使用する	
左上 □使用しない ■使用する	
左下 □使用しない ■使用する	
右上 □使用しない ■使用する	
右下 □使用しない ■使用する	
背面 □使用しない ■使用する	
左上 □使用しない ■使用する	
左下 □使用しない ■使用する	
上中央 □使用しない ■使用する	
下中央 □使用しない ■使用する	
右上 □使用しない ■使用する	
右下 □使用しない ■使用する	
拡張USBポート	
□使用しない ■使用する	
内部	

設定項目			備考
各種設定		Ē	
	MA	C アドレスパススルー ■使用しない □使用する	
	モダ	ダンスタンバイサポート ■使用しない □使用する	Secured-core PC モデルのみ表示
Inte	el(R)	Management Engine設定	
	ME	版数	
	US	3プロビジョニング ■使用しない □使用する	
	Inte	el(R) ME設定のクリア ■使用しない □使用する	
Sys	tem	Management	
]	ノトローラー	
	ファ	ァームウェア版数	
	Fea	ture Level	
	FAI	N制御 ■Enhanced □自動 □Full	※注1
	温周		
		CPU	温度センサー(CPU)の現在の状態
		Ambient	温度センサー(Ambient)の現在の状態
		Core	温度センサー(Core)の現在の状態
		PHC	温度センサー(PCH)の現在の状態
		Mem	温度センサー(Mem)の現在の状態
		GFX	温度センサー(GFX)の現在の状態
		SSD1	温度センサー(SSD1)の現在の状態
		SSD2	温度センサー(SSD2)の現在の状態
		GFX2	温度センサー(GFX2)の現在の状態
		CPU2	温度センサー(CPU2)の現在の状態

		設定項目	備考
	FAN		
		CPU	CPUファンの現在の状態
		SYS1	システムファンの現在の状態
		SYS2	システムファンの現在の状態
		PSU	・Platium電源搭載機種のみ表示 ・電源ファンの現在の状態
イ^	(ン)	トログ設定	
	11	ベントログ領域の状態	
	11	ベントログ内容の状態	
	イ/ ン	ベントログの表示 > Enter	⇔『製品ガイド(共通編)』の「2章 BIOS」―「イベントロ グを確認する」を参照
	イ′ [ベントログ □保存しない ■保存する	
	イ′ [ベントログの消去 ■いいえ □次回起動時に消去します	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「イベントログ」が「保存する」 ⇔『製品ガイド(共通編)』の「2章 BIOS」―「イベントロ グを消去する」を参照
	イ/ 【	ヾントログフル ■何もしない 〕すぐに消去する	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「イベントログ」が「保存する」
	ECC	こメモリエラー記録 □使用する ■使用しない	※注1
Intel(R) Ethernet Connection (17) I219-LM		Ethernet Connection (17) I	 ・オンボードLANデバイスのオプションROMに関するサブメニュー ・下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ・「ネットワーク起動」が「使用する」 ※注1

■初期値

設定項目	備考
DFCI管理	
Zero-touch UEFI Management	
Opt In >Enter	・「Opt Out」を実行すると表示される ・実行すると再起動する
Opt Out >Enter	・「Opt In」を実行すると表示される ・実行すると再起動する
Subject	
Thumbprint	
DFCIデバイス設定	
DFCI 無線 LAN ■使用しない □使用する	
DFCI Bluetooth(R) ■使用しない □使用する	
DFCI内蔵LANデバイス ■使用しない □使用する	
DFCI Audio コントローラー ■使用しない □使用する	
DFCI HTテクノロジー ■使用しない □使用する	
DFCI VTD ■使用しない □使用する	
DFCI SDカードスロット ■使用しない □使用する	

注1:本設定は初期値のまま変更せずにお使いください。

注2:本設定を「起動を続ける」に設定しても、エラーメッセージは表示され、イベントログにも記録されます。

注3: ネットワークサーバーから起動するためには、「Wired for Management Baseline Version 2.0」に準拠した インストレーションサーバーシステムが必要となります。

セキュリティメニュー

□選択肢 ■初期値

設定項目	備考
管理者用パスワード	設定状況を表示
ユーザー用パスワード	設定状況を表示
管理者用パスワード設定 >Enter	⇔『製品ガイド(共通編)』の「2章 BIOS」―「BIOSのパス ワード機能を使う」を参照
ユーザー用パスワード設定 >Enter	➡『製品ガイド(共通編)』の「2章 BIOS」―「BIOSのパス ワード機能を使う」を参照
ユーザー用パスワード文字数 3~32(初期値:4)	・「管理者用パスワード」設定時に設定可能 ・ユーザー用パスワードの設定可能文字数 (3~32)を設定
起動時のパスワード ●使用しない □最初のみ □毎回	 ・「管理者用パスワード」設定時に設定可能 ・使用しない…本ワークステーションの起動時に、パス ワード入力の要求なし ・最初のみ…本ワークステーションの電源を入れたとき にのみ、パスワード入力を要求 ・毎回…本ワークステーションの起動時ごとに、パス ワード入力を要求 ⇒『製品ガイド(共通編)』の「2章 BIOS」一「BIOSのパス ワード機能を使う」を参照
自動ウェイクアップ時 ■使用しない □使用する	 LAN/タイマーなどによる自動ウェイクアップ時のパス ワード要求有無を設定 下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 「起動時のパスワード」が「最初のみ」または「毎回」 使用しない…自動ウェイクアップ時での起動時に、パ スワード入力を要求なし 使用する…自動ウェイクアップ時での起動時に、パス ワード入力の要求 ハードディスクパスワードの入力スキップは不可
取外し可能なディスクからの起動制限 ■使用しない □使用する	 「管理者用パスワード」設定時に設定可能 使用しない…全てのユーザーが取外し可能なディスクから起動可能 使用する…管理者だけが取外し可能なディスクから起動可能
システムファームウェア更新機能 □使用しない ■使用する □使用する(制限付き)	※注1
デバイスファームウェア更新機能 ■使用する □使用する(制限付き)	

	設定項目	備考
起重 [カメニュー □使用しない ■使用する □毎回表示する	
シフ 	ステムファームウェアロールバック ■使用しない □使用する	
-۱	-ドディスクセキュリティ	
	ドライブn	・搭載されているドライブごとに表示される ・設定状況を表示
	ユーザーパスワード設定 >Enter	電源投入直後にBIOSセットアップを起動した場合に設定 可能 ⇔『製品ガイド (共通編)』の「2章 BIOS」―「BIOSのパス ワード機能を使う」を参照
	起動時のパスワード入力 □使用しない ■使用する	 ・ハードディスクユーザーパスワード設定時に設定可能 ・再起動時は、本設定に関係なくパスワード入力の要求なし(M.2フラッシュメモリディスク(NVMe)を除く) ・使用しない…本ワークステーション起動時に、ハードディスクパスワード入力の要求なし ・使用する…本ワークステーション起動時に、ハードディスクパスワード入力を要求 ⇒『製品ガイド(共通編)』の「2章 BIOS」ー「BIOSのパスワード機能を使う」を参照
所有	有者情報	
	所有者情報	設定状況を表示
	所有者情報設定 >Enter	
TPN	A(セキュリティチップ)設定	
	セキュリティチップデバイス TPM 2.0 (IFX)	
	ファームウェア版数	
	ベンダー	
	セキュリティチップ □使用しない ■使用する	設定変更は再起動後に有効
	TPM状態の変更内容 ■変更しない □クリアする	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「セキュリティチップ」が「使用する」 ⇔『製品ガイド(共通編)』の「2章 BIOS」―「セキュリ ティチップの設定を変更する」を参照

	設定項目	備考
	ハッシュアルゴリズム設定	
	SHA-384 サポート ■使用しない □使用する	 ・チップセット内蔵のセキュリティ機能(Intel(R) PTT)使用時設定可能 ・下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 「セキュリティチップ」が「使用する」
セキ	- ュアブート設定	
	セキュアブート	・設定状態を表示 ・「セキュアブート機能」が「使用する」時は「有効」、 「使用しない」時は「無効」と表示される
	署名情報の保護	 ・設定状態を表示 ・「無効(セットアップモード)」または「有効(ユーザー モード)」と表示される
	署名情報の状態	・設定状態を表示 ・「標準」または「カスタム」と表示される
	セキュアブート機能 □使用しない ■使用する	
	署名情報設定 ■標準 □カスタム	
	署名情報の管理	
	署名情報の初期化 □使用しない ■使用する	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「署名情報設定」が「カスタム」
	署名情報の初期化	下記の項目が次のように設定されているときに表示/設 定可能 ◆「署名情報設定」が「カスタム」 ◆「署名情報の初期化」が「使用する」
-	署名情報の削除	 下記の項目が次のように設定されているときに表示/設定可能 ◆「署名情報設定」が「カスタム」 ◆「署名情報の初期化」が「使用しない」
	キーの保存	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「署名情報設定」が「カスタム」
Ī	Device Guard Ready	
	3rd-party UEFI CA □使用しない ■使用する	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「署名情報設定」が「カスタム」
	Restore DB defaults	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「署名情報設定」が「カスタム」

設定項目	備考
Secure Boot variable	
Platform Key(PK)	
Details	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「署名情報設定」が「カスタム」
Export	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「署名情報設定」が「カスタム」
Update	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「署名情報設定」が「カスタム」
Delete	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「署名情報設定」が「カスタム」
Key Exchange Key(KEK)	
Details	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「署名情報設定」が「カスタム」
Export	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「署名情報設定」が「カスタム」
Update	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「署名情報設定」が「カスタム」
Append	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「署名情報設定」が「カスタム」
Delete	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「署名情報設定」が「カスタム」
Authorized Signatures(db)	
Details	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「署名情報設定」が「カスタム」
Export	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「署名情報設定」が「カスタム」
Update	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「署名情報設定」が「カスタム」
Append	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「署名情報設定」が「カスタム」
Delete	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「署名情報設定」が「カスタム」

設定項目	備考
Forbidden Signatures(dbx)	
Details	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「署名情報設定」が「カスタム」
Export	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「署名情報設定」が「カスタム」
Update	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「署名情報設定」が「カスタム」
Append	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「署名情報設定」が「カスタム」
Delete	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「署名情報設定」が「カスタム」
Authorized TimeStamps(dbt)	
Details	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「署名情報設定」が「カスタム」
Export	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「署名情報設定」が「カスタム」
Update	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「署名情報設定」が「カスタム」
Append	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「署名情報設定」が「カスタム」
Delete	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「署名情報設定」が「カスタム」
OSRecivery Signatures(dbr)	
Update	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「署名情報設定」が「カスタム」
Append	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「署名情報設定」が「カスタム」

注1:「使用する(制限付き)」に設定したときは、Windows UpdateによるBIOS更新機能は利用できません。

電源管理メニュー

設定項目	備考
AC通電再開時の動作 ■電源OFF □電源ON □自動	 ・設定変更は再起動後に有効 ・電源OFF…通電再開時に一瞬電源が入り、WoLなどを初期化。その後電源OFF。 ・自動…電源断発生時の状態による。 起動中、スリープは「電源ON」 シャットダウン、休止状態は「電源OFF」 ※注1
電源オフ時のUSB/PS2電源供給 ■電源OFF □電源ON	設定変更は再起動後に有効
USB Type-Cポートへの給電 ■最大3A/15W □最大1.5A/7.5W □最大900mA/4.5W □給電しない	設定変更は再起動後に有効
PC-ディスプレイ電源連動機能 □使用しない □電源ONのみ ■使用する	設定変更は再起動後に有効
LANによるウェイクアップ ■使用しない □使用する	設定変更は再起動後に有効 ※注2 ※注3 ☆『製品ガイド(共通編)』の「2章 BIOS」一「Wake on LANを有効にする」を参照
時刻による電源ON ■使用しない □使用する	設定変更は再起動後に有効 ※注2 ※注3 ※注5
時刻 HH:MM:SS	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ・「時刻による電源ON」が「使用する」
日付 0~31	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ・「時刻による電源ON」が「使用する」
キーボードによるウェイクアップ ■使用しない □使用する □専用キーのみ	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ・「電源オフ時のUSB/PS2電源供給」が「電源ON」

- 注1: UPSなどを使って通電再開時に電源を投入させたい場合は、「電源ON」に設定してください。ただし、 「電源ON」設定時に、本ワークステーションの電源切断状態からAC入力に瞬断が発生すると、本ワーク ステーションの電源が投入されることがあります。
- 注2:Windowsの高速スタートアップを無効にしてください。
- 注3:「AC通電再開時の動作」を「使用しない」に設定した場合、停電などのAC電源切断が発生すると、次に 本ワークステーションの電源を入れるまで本機能は使用できなくなります。
- 注4: 省電力状態(スリーブ状態)からレジューム(復帰)させることはできません。デバイスマネージャーでの設定が必要です。
- 注5:省電力状態(スリープ状態)からレジューム(復帰)させることはできません。タスクスケジューラまたはタスクでの設定が必要です。

MEBxメニュー

MEBxメニューについては、『製品ガイド (共通編)』の「2章 BIOS」—「ME BIOS Extension」をご覧ください。

起動メニュー

□選択肢 ■初期値

	設定項目	備考
起動	動デバイス順位の初期化 ■いいえ □はい	
UEI	FI起動デバイス追加時の優先順位 □標準 □最上位 ■最下位	
起動	動デバイスの優先順位	OSを読み込むデバイスの優先順位を設定 ^{※注1} ⇔『製品ガイド(共通編)』の「2章 BIOS」―「起動デバイ スを変更する」を参照
	Boot Optiovn #n	nは起動の順位を示す
	#1: Windows Boot Manager ([HDDデバイス名]) #2: UEFI: IPv4 [LAN デバイス名] #3: UEFI: IPv6 [LAN デバイス名]	 カスタムメイドオプションおよびお使いの状況により、 起動順位および起動順位の数は異なる 「UEFI: [CD/DVDドライブ名]」は、UEFI起動可能なディ スクをセットしている場合に表示 UEFIアプリケーションが、優先順位を変更することがあ る

注1: ネットワークサーバーから起動するためには、「Wired for Management Baseline Version 2.0」に準拠したインストレーションサーバーシステムが必要となります。

終了メニュー

設定項目	備考
変更を保存して終了する	
変更を保存せずに終了する	
標準設定値を読み込む	 次の項目は対象外 システム時刻 システム日付 言語(Language) キーボードレイアウト 管理者用パスワード ユーザー用パスワード ハードディスクパスワード ・起動時のパスワード ・起動時のパスワード ・「所有者情報 ・セキュアブート機能 ・起動デバイスの優先順位 ・ ・
変更前の値を読み込む	
変更を保存する	
変更を保存して電源を切る	